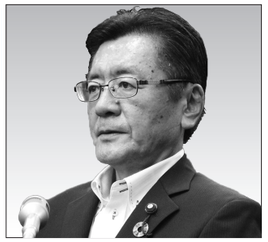
「導入を目指す自治体新電力の目的意義は」
「財源確保目的の電力小売り事業会社の設立」

田中義基（たなかよしもと）議員



問 設立予定の新電力会社の形態・姿とは。

町長 需要家獲得・電源調達方針・収支計画などについて、「事業化可能性調査業務委託」により、事業化の可能性を含めて、検証のための調査を実施し、決定する。

問 新設担当部署が遂行する業務の、今後一年のスケジュールは。

地域政策課長 前述の調査結果を検討し、本年度中に会社設立について、判断していきたい。

意見 公募型プロポーザル方式による委託業者選定の際には、しっかり町としてのビジョンと、取り組みたいミッションを伝えた上で決定していただくよう、お願いしておきます。

◆さくら通りの景観について

問 街路樹として植栽されている、「桜」管理のこれまでと今後は。

町長 平成28年度の樹木医の診断により、植栽マスを大きくして5か所の植え替えを行った。樹種の選定や管理方法についての検討委員会は、まだ立ち上げていないが、今後の対応について検討していく。

問 今後の植え替えは何か所計画するのか。

建設管理課長 生育の悪い桜は植え替える方向で考えているが、1か所50万円ほど経費が掛かるので、木の状態・場所・予算等を考慮しながら順次植え替えを実施していきたい。

意見 全ての開花を目指す対策は、予算も年数も相当必要。早急にその手法を採らなくても、枯死した桜の木だけは早めに撤去すべきです。

◆「ハイイロゴケグモ」について

問 高鍋町内で発見された特定外来生物であるこのクモ、環境生態も含めて、生育域状況はどういうものなのか、町としてどう対応するのか。

町長 主に側溝やブロックの隙間など、屋外の物陰に生息しているようだ。広報等での周知を図り、県と連携を取り対応していく。

問 発見した際の注意点と対処法は。

町民生活課長 攻撃性はないが、触ると咬まれることがあるので注意を。卵のうについては殺虫剤が効きにくいので踏みつぶすなど確実な駆除を願う。

さくら通りの風景

※その他、市町村消防指令業務の共同運用についてと、公務員定年年齢引き上げについてを質問しました。

「福祉施策を進める上で一番大事なことは」
「寄り添う心で支援することが極めて重要」

古川誠（ふるかわまこと）議員

◆国の福祉制度の活用について

問 コミュニティソーシャルワーカーの導入を含む、包括的な支援体制の整備を進めていくべきではないか。

町長 関係課と協議の上、支援体制の整備等の取組を進めたい。

◆高齢者の生きがいづくりについて

問 町民の交流の促進や地域活性化のため、空き家や空き店舗を活用した居場所づくりをおこなってみては。

町長 官民連携、その他工夫をしながら、現在は「まちなか学習館」の設置などについて検討を進めている。

◆なでしこバスの運行について

問 高齢者や障がい者が病院や買い物に行くために運行するなど、柔軟に対応できないか。

地域政策課長 オンデマンド運行の検討など、路線や運行形態について抜本的な見直しも必要だと考える。

◆高鍋町地域福祉計画について

問 そろそろ改定の時期だと聞いたが。

福祉課長 住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支え合う「地域共生社会の実現」を盛り込んでいく。

◆コロナ禍における生活困窮者支援について

問 緊急小口資金制度はご存じか。

町長 休業や失業等により生計の維持が困難になった方々に向けた、国の緊急特例貸付制度。

問 高鍋町での制度利用も増えているが、町としても何かできないか。

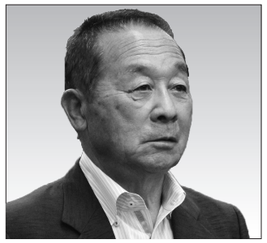
福祉課長 申請者は、自営業、パート職員、会社員等様々。新型コロナウイルス感染症の影響による収入激減が主な理由となっており、影響の大きさを感じている。できる限りの相談支援を行っている。

◆放課後児童クラブについて

問 全体的な定員もだが、せめて夏休みだけでも子ども

「高鍋農業高校の全国枠生徒募集について」
「2つの学科で16名となっている」

黒木正建（くろきまさたけ）議員



問 募集の目的、募集対象となる学科及び募集人数について伺う。

町長 目的として本県における農業人材の育成確保を目指す。本校には園芸科学科、畜産科学科、フードビジネス科、食品科学科の4学科があるが、対象となるのは園芸科学科と畜産科学科の2学科で各々8名・計16名の募集枠となっている。

◆道路通行上支障となる障害物の除去整備について

問 蚊口踏切は蚊口浜への往来に支障をきたしている。原因は周囲の土手、雑木雑草等が視界を妨げていると思われる。その対応について伺う。

建設管理課長 同一場所にJR九州、森林管理署、町有地等が関連しているので協議を続けているところである。

意見 蚊口踏切から「高島カキ料理」に至る町道は樹木の伐採が必要です。過去に見通しが悪いため、車とバイクの正面衝突が発生しています。

※後日、現場において森林管理者、役場建設管理課、グラウンドゴルフ関係者及びその他関係者で協議し事故防止のための樹木伐採（約15本）について協議を行いました。

◆照明灯の設置について（再度質問）

問 ぐみ原～蚊口線（警察官舎～国道10号のローソン東側）の約600メートルの町道である。その後の進捗状況を伺う。

建設管理課長 夜間数回、現場を通行してみたが、危険な町道であると思った。現在照明灯を設置するための手法等を検討しており、早い時期に実現したい。

◆海水浴場のトイレ改修について

問 蛍光灯、換気扇は全て機能せず、外観の劣化も激しく利用したくないとの不評を買っている。今後の対応について伺う。

地域政策課長 昭和63年に建築されたもので、旧式である上に老朽化も進んでいる。全体的に外観の塗装も劣化などが確認できる。今後、観光協会が旧磯亭周辺整備を行う中において協議することになると思う。

見通しの悪い蚊口踏み切り（西側）

生育域状況はどういうものなのか、町としてどう対応するのか。

町長 主に側溝やブロックの隙間など、屋外の物陰に生息しているようだ。広報等での周知を図り、県と連携を取り対応していく。

問 発見した際の注意点と対処法は。

町民生活課長 攻撃性はないが、触ると咬まれることがあるので注意を。卵のうについては殺虫剤が効きにくいので踏みつぶすなど確実な駆除を願う。

さくら通りの風景

※その他、市町村消防指令業務の共同運用についてと、公務員定年年齢引き上げについてを質問しました。

意見 蚊口踏切から「高島カキ料理」に至る町道は樹木の伐採が必要です。過去に見通しが悪いため、車とバイクの正面衝突が発生しています。

※後日、現場において森林管理者、役場建設管理課、グラウンドゴルフ関係者及びその他関係者で協議し事故防止のための樹木伐採（約15本）について協議を行いました。

◆照明灯の設置について（再度質問）

問 ぐみ原～蚊口線（警察官舎～国道10号のローソン東側）の約600メートルの町道である。その後の進捗状況を伺う。

建設管理課長 夜間数回、現場を通行してみたが、危険な町道であると思った。現在照明灯を設置するための手法等を検討しており、早い時期に実現したい。

◆海水浴場のトイレ改修について

問 蛍光灯、換気扇は全て機能せず、外観の劣化も激しく利用したくないとの不評を買っている。今後の対応について伺う。

地域政策課長 昭和63年に建築されたもので、旧式である上に老朽化も進んでいる。全体的に外観の塗装も劣化などが確認できる。今後、観光協会が旧磯亭周辺整備を行う中において協議することになると思う。

見通しの悪い蚊口踏み切り（西側）

問 高鍋町の福祉相談センター「架け橋」

高鍋町の福祉相談センター「架け橋」